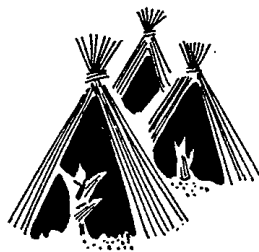


農業



平成25年12月号
会誌 No. 1579

目次

巻頭言

派遣実習を終えて……………岸 康彦 3

論壇

都市農業について－練馬区での体験－……………西藤 久三 4

農業懇話会

除塩・除染の課題と研究の推進状況（Ⅰ）……………後藤 逸男 6

東京農業大学東日本支援プロジェクト

「そうま方式」による津波被災農地の復興

そうま方式（東京農大方式）によるハウスの除塩対策

相馬のイチゴハウスの復興

宮城県名取市では、農家自らが「そうま方式」

津波被災農地における今後の営農対策

津波被災農地復興への提言

福島県では津波被災農地の復興はこれからが正念場

地域セミナー

いま、熊本の農業をどう拓くか（Ⅰ）…………… 20

－地域に根差した食農システムをめざして－

挨拶……………染 英昭 20

挨拶……………藤木 勝也 21

基調講演……………澁澤 栄 22

これからの農業発展の方向－食農システムと ICT 活用農業の確立に向けて－
日本農業の挑戦
日本畜産の展開力は何か
ICT 活用の地域食農システム

研究の最前線

プラウ耕鎮圧体系の乾田直播とこれからの水田農業……………大谷 隆二 36

農業・農村の現場から

青森県における 6 次産業化に向けた取り組み……………杉山 孝彦 44
－私と 6 次産業化プランナー－

世界の農業は今

ウガンダの農業事情……………荒木 康紀 51
－近年の農業近代化の動きとその支援の在り方－

農政情報…………… 56

平成25年度（第52回）農林水産祭天皇杯等受賞者…………… 57

平成25年度農業技術功労者表彰…………… 58

大日本農会だより…………… 58

「農業」年間総目次…………… 59

表紙写真説明

収穫（滋賀県愛知郡愛荘町旧秦荘町）

滋賀県愛知郡愛荘町は、平成18年に、愛知郡愛知川町と秦荘町が合併した町である。琵琶湖の東岸に位置した湖東平野にある。秦荘町は元禄時代に伊勢参りの土産になった「秦荘やまいも」が特産物として著名である。

写真は赤カブの収穫風景である。遠くに木で組んだ赤カブの天日干しの風景が見える。旧愛知川町にある漬物加工業者の「赤かぶ糠漬」の原料としてこの地域では生産されている。

赤カブは水田に畝を立て、種をまき、生産途中で間引きしながら 1 本立てにし、追肥・土寄せをしながら肥大させる。地域では「あかくら」とも呼ばれている。収穫時期は11月下旬から12月である。カブに関する記述は秦荘町よりも愛知川町に多くあり、同町にある八幡神社の秋祭りに赤カブを神供する古例がある。

（写真提供：一般社団法人地域環境資源センター）